



日本IBMとの共創により初開催！ 市高タイム ワークショップ 「Tech for Good: 市高がテクノロジーで北Qの未来を加速する」

北九州市立高等学校では、令和3年度から生徒が主体的に学ぶ時間として「市高タイム」を実施してきました。今年度、新たな試みとして令和4年8月に北九州市と連携協定を締結した日本アイ・ビー・エム株式会社（以下、IBM）との共創によるワークショップ「Tech for Good: 市高がテクノロジーで北Qの未来を加速する」を開催します。

つきましては、取材いただきますようお願いいたします。

ワークショップには、IBMからエンジニアも参画し、先進技術に触れることによりテクノロジーに対する生徒の関心を高めるとともに、デザイン思考を取り入れたグループワークを通じてテクノロジーによって社会の課題を解決することの楽しさを学びます。

1 開催概要

事業名：市高タイム ワークショップ

「Tech for Good: 市高がテクノロジーで北Qの未来を加速する」

開催日時：令和5年5月19日(金) 13:55～16:30

開催場所：北九州市立高等学校(北九州市戸畑区浅生一丁目10-1)【第3端末室】

参加者：生徒15名程度 (IBMグループ社員4名～6名)

2 スケジュール

時間	内容
～5月18日	IoTについて生徒が各自で事前学習
13:55～	オープニング、講師紹介・自己紹介、アイスブレイク
14:30～	最新テクノロジー活用事例の紹介
14:50～	アイディエーション、発表準備
16:00～	グループワークの成果発表と振り返り
16:25～	クロージング

<お問合せ先>

北九州市立高等学校

担当：増田（副校長）、増田（校長）

電話：(093) 881-5440

<IBM連携協定に関するお問合せ先>

北九州市産業経済局企業立地支援課

担当：福田、岩本

電話：(093) 582-2065

北九州市立高等学校

- ◇ 校長 増田 順 (令和5年4月1日付けで就任した民間出身校長)
※令和4年10月1日～令和5年3月31日は副校長として勤務
※参考：令和4年8月25日付け報道発表資料 URL (QR コード)
<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/files/000992542.pdf>
- ◇ 所在地 北九州市戸畑区浅生一丁目10番1号
- ◇ 開校 昭和38年
- ◇ 定員 600名 (各学年200名×3学年)
各学年の内訳： 普通科 (各学年80名)
情報ビジネス科 (各学年120名)
- ◇ 生徒数 583名 ◇ 職員体制 70名



◇ その他

北九州市立高等学校では、令和6年度から、「普通科」を「未来共創科」に改称する。「未来共創科」では、これまでの「普通科」のカリキュラムに加えて、大学や企業等と連携した学習プログラムなど、探究的な学びの充実を図っていく（大学入試で求められる、自分の考えをまとめる力や表現力「思考力・判断力・表現力」なども育成）。

スクール・ミッション

市内唯一の「市立」高等学校の強みである北九州市のリソースを活用して、「産・官・学・民」と連携・協働しながら、絶えず変化する未来の社会や世界をけん引する若者を育成します。

日本アイ・ビー・エム株式会社

令和4年8月4日、北九州市と連携協定を締結。令和4年11月1日、北九州市にIBM地域DXセンター（札幌市、沖縄県那覇市、仙台市に次いで全国で4ヶ所目）を設置。IBM地域DXセンターを展開する日本アイ・ビー・エムデジタルサービス株式会社（IJDS）は、2022年から、地域活性化を目的に地域の関係者（住民、地元企業、行政、教育機関）とともに「地域共創DXワークショップ」を実施、今回、初めて北九州市の教育機関と共同でワークショップを開催。

連携協定概要

- (1)北九州市への立地（進出）に関する事
- (2)北九州市で取り組むビジネスに関する事
- (3)地域DX・GXの推進に関する事
- (4)デジタル人材の育成に関する事
- (5)スタートアップ支援や企業誘致に関する事